

(様式1)

## 令和5年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第三寺島小学校
校長名	関口 亮治

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・全学年、文章を書く問題の正答率が全国平均を上回っている。</li><li>・2年生は、国語・算数共に全観点で全国平均を上回っている。</li><li>・3年生は、国語の全観点で全国平均を上回っている。</li><li>・5年生は、社会の全観点で全国平均を上回っている。</li><li>・6年生は、国語・算数共に主体的に取り組む態度が伸びた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・国語、算数ともに、学年が上がるにつれ、全国と比較して学力が低下する傾向にある。</li><li>・6年生国語は、経年比較で令和元年から継続的に低下へと推移している。</li><li>・5年生算数は、経年比較で令和2年から継続的に低下へと推移している。</li><li>・国語は、どの学年も漢字の読み書き、言葉の特徴や使い方に関する事項が全国と比較して低い傾向にある。</li><li>・理科は、全学年で全国と比較して学力が低く、経年ごとに低下傾向にある。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・努力したことがうまくいき、達成感を感じた経験があるという児童の割合は高い。</li><li>・将来の夢や目標を持っている児童が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・あきらめずにやりぬく力が全体的に弱い傾向にある。</li><li>・学習で不思議に思ったことや疑問に思ったことを自ら調べることに課題がある。</li><li>・携帯電話の所持率が高い。SNSでのやりとりをする児童の割合も高い。</li><li>・ゲーム時間が長く、就寝時間が遅い児童は学習内容の定着に課題が見られる。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・多くの児童は宿題に毎日取り組むことができている。</li><li>・出された課題や宿題などをしっかりやろうとする意識は全体的に高い。</li><li>・授業中のペアトーク、グループ活動での話し合いは活発にできる児童が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年が上がるにつれ、宿題を毎日提出することが難しい児童が一定数いる。</li><li>・課題や宿題への取組が、学習の定着につながっていない児童が一定数いる。</li><li>・授業中の発言、全体共有をする場面では、すすんで発言する児童が偏る傾向にある。</li></ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 主体的に学習に取り組む態度を高めるための取組

- ・各教科、領域において、カリキュラムマネジメントの視点に立った単元作成、問題解決型授業を充実させる。
- ・ルビ付き教材、個に応じた問題数の提示等を行うことで、児童の学習意欲を高め、学習に主体的に取り組むことができるようにする。
- ・さんてらタイムを週1回から3回に増やし、ミライシード、東京ベーシックドリルなどを活用して漢字、計算、言葉の習得に全校で取り組むことで、主体的に学習に取り組む素地を養う。
- ・3年生以上は国語辞典を身近に置き、疑問に思った言葉をすぐに調べることができるようにする。

### (2) 学習内容の定着が低位の児童の学習意欲を高めるための取組

- ・1、2年生は、チャレンジ教室の実施により学習機会を確保し、学習習慣が身に付くようにする。  
(1年生は毎週木曜日、2年生は毎週火曜日に実施)  
→個に応じた教材の準備、担任と教室担当者の連携による習得状況の確認。
- ・3、4年生は、少人数体制の放課後補習教室の実施により個に応じた指導を充実させる。  
(3、4年生ともに毎週水曜日に実施)  
→学習内容と課題を担任から教室担当者に伝え、実施内容、習得状況を担当者から担任に報告。  
宿題に反映させ、家庭と連携して毎日の家庭学習を強化することで、基礎基本の定着を図る。
- ・模範的な漢字ノート、自主勉強ノートを示すことで、家庭学習内容の充実を図る。
- ・夏季休業後、冬季休業後に家庭学習パワーアップ週間を設定し、家庭学習の内容を見直すとともに、保護者と連携して児童の頑張りを賞賛する機会とすることで、児童の学習意欲を高める。
- ・授業における個別支援を充実させる。
- ・ふりかえりシート、問題データベース、ミライシードを活用して、基礎基本の定着を図る。

### (3) 理科教育の充実

- ・実験、観察を充実させ、「本物」から学ぶことができるようにする。
- ・教師の一方的な教えこみにならないようにし、児童の思考の流れに合わせて「課題→予想→実験・観察→結果→考察→まとめ、ふり返り」という学習の流れで授業を展開する。
- ・導入時や終末にふり返りシートを活用し、語句の習得、理解の定着を図る。
- ・各単元のまとめとして、学習したことを日常の科学的事象とつなげる授業を行う。

## 3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・国語、算数を全国平均正答率以上にする。
- ・「学習習慣」「学習意欲」の値を全国平均以上にする。
- ・同一集団において、前年度の正答率より上昇することを目指す。